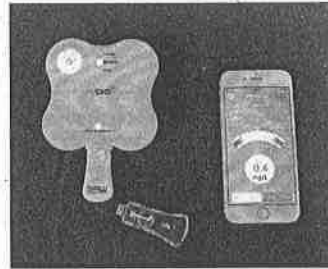


### 医療機器試作品コンテスト



## 日本無線がグランプリ

埼玉県は17日、2017 グランプリには通信機器メ  
年度の医療機器等試作品コーカー、日本無線(東京・  
ンテスト表彰式を開いた。中野)が開発した血液1滴

でタンパク質の量を調べら  
れる「在宅医療に適したタ  
ンパク質分析機」写真  
を選んだ。事業化支援資金  
として賞金500万円を贈  
った。  
タンパク質分析機は日本  
無線の川越事業所(同県ふ  
じみ野市)が開発。パイオ

### 県、タンパク質分析機 評価

センサチップに微量の血液  
を滴下して分析機に差し入  
れると、風邪や肺炎などで  
炎症反応を起こした際に体  
内で増えるタンパク質の量  
を調べられる。小型で持ち  
運びやすく、同社は18年中  
に商品化し、訪問診療など  
で活用してもらおうことをめ  
ざす。  
同コンテストは将来の産  
業基盤を育成する先端産業  
創造プロジェクトの一環と  
して実施。今回は17年7月  
9月に試作品を募り、20件  
の応募があった。